大正三年十一月二十三日　第三種郵便物認可

磐城新聞

夕刊

七月十八日發行

東京振替一〇八・五五六番

令旨奉戴二十週年奉祝　大日本青年　北部動員　大會參加の記

東部青年團代表　鈴木文雄

（二）

神武御東征の砌、賊の威はなはだよるひ皇軍は實に難戰苦闘をなし、御兄君五瀬命は賊の矢にあたり給ひ「われは日の御子である――今、日に向ひて戰つてゐる、一刻も早く日を背び軍を進めよ」と曰り給ひつゝ崩じ給ふた。その御言葉により皇軍は浪速のあたり、今の大阪附近より紀伊の男五水門に迂廻して紀伊に向ひ一折、大いなる[illegible]ら出でたるとみるまに軍も從ふ軍人もみな[illegible]に遊ばれた。實に神武御東征中の最も重大なる危機であつた。その時みも知らぬ一人の神が御劍を獻上なさいました、[illegible]なく天皇がその劍を御手に取るよとみる間に、[illegible]じるしく昏々として眠つてゐた軍人が力強く立ち上り味方の士氣大いに擧り賊を平げた、それこそ天照大神、高木神が建御雷命を召して、葦原中國はいたく騒がしく汝行きて助けよと申さるゝに、建御雷命は私がかつてかの國を平げた折使つた大刀があります故、かの刀に住ひする高倉下命の家におとしませうと――高倉下命はその神夢によつて御劍を天皇に獻じ危難をお救ひ申上げた功臣であります。動員大會に際しても各縣で彌彦神社參籠隊を組織して、我々の朋友が白衣を着して、一夜を神に奉仕したのであります。

五日午後四時驛前に於て、縣部長、市代表諏訪市議[illegible]熱誠あふるゝ歡送辭を受けて、我等水竹青年團幹事、西部代表金子松男君、二瓶榮君四名は使命重大を再認識し、赤津町[illegible]青年團、各青年分團[illegible]及び[illegible]各位[illegible]な、歡送を受けて一路縣青年團員[illegible]なぞ、頑張つて來ると堅く誓つて[illegible]集結地郡山に向ひました。午後十時燈管中の郡山驛に於て編成入り、福島中隊第二小隊第五班に配屬なる指揮下に入つたのであります。深夜午前零時四十分臨時列車に乘車し、午前四時若松小隊て出發、乘車し、こゝに福島隊總員四百二十五名一名を添ゝ動員に參加したのであります。十一輛臨時列車は岩手、宮城、福島隊で約千名國防色一色、富に軍用列車と變るところがありません假寢の夢を吹き飛ばし意氣天をつくばかりの若人の集團です。

新刊紹介

△詩層三輯　生田春月十回忌法要特輯號として發行（一部二十五錢東京市淺草區千束町二の三四詩人街道社）

7月19日

△蛤門の戰（元治元）△山岡鐵舟歿す（明治二一）△米西戰爭終る（一八九九）△興亞院華興券と法幣の紹綫を決定（昭和一四）

○

學を好むは知に近く、力め行ふは仁に近く、恥を知るは勇に近し　孔子

夜嵐お絹 〔123〕

悟道軒圓玉　筒井直衛畫

糺問所

おきぬは函館の戰爭に降伏した人々が當時丸の内の糺問所に捕へられ、其内に酒井豊之助も居ると聞き、榎本さんや大島さんには度々お座敷へ呼ばれた事もあり、其人々を酒井を見舞ふ爲に　市村座の出方、今で云ふ座員、其頭が是を留場と云つた、三次郎と云ふ者を供につれ、糺問所へ出て來た、時しも九月の末ではあれどもまだ少し熱は去らぬ。

紺の細、蚊がすりの上布に茶博多の帶、髮は潰しの島田に白の葛引をかけ、本鼈甲利休形の櫛、吾妻下駄を穿き、其の頃の藝妓は足袋を穿かぬから素足ですそれですから足の綺麗なこと、然るに今の東京の藝妓はもの〱しい服裝で冬期は綿の澤山入つてゐる布子を着て、コツ〱したる帶を締め、裏絹羽の足袋を穿き、毛皮の襟巻きをして傲慢をふところに髮は束髮、何う見ても金のある看護婦やう、夏になると襟がついゝ襦袢の上に紋の浴衣なぞを着てゐる者がある、其だ格禪がわるく更に粋なところはない、それ故藝妓に迷つて家産を蕩盡するやうな馬鹿息子が無いやうになつたのは眞の德義心のある人聖だと感心する。乃で先年愚老が久し振りで京阪に遊んだが、その藝妓の形の好いのには感服、[illegible]時代の藝妓と同じやう　其頃愚老が浮名を流した事などを思ひ出して[illegible]なかつた、時雨降る中を蛇の目の傘をさして三條の大橋を渡る其姿の官さ、恰度日の暮で東山が秋淡然と見て、川邊にチラ〱と燈が映す、是は一幅の畫面、愚老も遠からず京都に引き移り老後を送らうと思つたが、立花家橘之助ゞ圖の大椿事以來又考へた、

『三ちやん、玆がお役所かね』

おきぬに聞かれて供をして來た留場の三次郎が、

『さうですネ門に四角な板名のやうな字で看板が出てゐますが、難解かしい字だから讀めません、訊いて見ませう』

それへ來て冠つてゐる菅笠を脱り

『少々お聞き申します、糺問所と云ふ御役所は貴處樣でございますか』

問はれ　門番が

『糺問所は玆であるが、何う云ふ用事か』

『御願ひ申す事がございます、……姐さん、こゝは糺問所だそうですよ』

おきぬは日傘をつ窄めて

『お願ひ申す事がございます』

門番はおきぬを見て

『何ゝ云ふ事かナ』

『貴方に榎本さんや大鳥さんがおいでなさるさうでございますが　其外に酒井さんに上げたい物があつて參りましたが』

『控へろ　彼の人々は罪人だぞそれへ品物を届けるには相當な手續を履まねばならぬ歸れ〱』

『そんな事を言はないであなたの手から届けて下さいナ』

『それは出來ぬぞ、一体きさまは何ンだ』

『猿若町に居ります紀の國屋のおきぬと云ふ者でございます』

『紀の國屋のおきぬ……渡世は何んだ』

と反問した、スルト三次郎が

『猿若町の紀の國屋のおきぬと云へば判りそうなものだナ、淺草の……と云へば觀音樣だ、山國から出て來て初めて生きた魚を見た人には通じねかナ、此の姐さんは藝妓でございます』

『アー藝妓か、その藝妓が榎本殿や、酒井豊之助に何んな縁故がある』

『御愛顧になつたお客様ですから其の禮として御見舞に何ゝ品を持つて出ました、お前さんからお届け下さいませ』

『それは不可ぬ手續を取つて願へ』

『その手續をする位ならばお前さんには頼まねえ、ネエ御門番さん暑い中を出て來たンだ』

『俺が暑くした譯でない』

『融通の利かねえ山男だ』

三次郎は啖呵を切つた

暗影

石川徹

○さ庭邊に苺の花の咲きたれど君の便りの絶えて久しも

○ローソクの焔の如く君と吾の心燃ゆしは何時の日なりけむ

○陰陽の電氣ふれあひて火花散る情熱と云ふもあはれなりしよ

○荒潮の荒きうねりにたゆたへる寂しき水鳥を吾れと思へや

○糸よりも細く雨降る春の暮れかなしきことを思ひつゞくる

○激情の靜りし時しく〱と男泣きするをとがめ給ふな

小兒科・内科　酒井醫院　入院隨時　平市南町（電五五番）　醫學博士　酒井保

小瀧礦泉の　涼味是非御出で下さい　割烹　鐵道指定旅館　小瀧　電話小名濱一〇三

故障の起らぬ　原口のラヂオ　原口無線電機株式會社代理店　古山電氣商會　平市二丁目（警察署通り）　電話（呼出）166

開院　外科一般　内臓外科　整形外科　肛門病科　性病科　レントゲン科　平市南町（平郵便局本局裏通り）　上田外科醫院　院長　上田耕作　電話一二九番

初夏は丹後澤へ　年々御贔屓に預り難有御禮申上升、本年は非常時下体位向上の爲格別の勉強を以て御待して居りマスから是非一日の御清遊を　丹後澤舟遊會　生花商　花友　平市　電話六九五番

外科一般　内臓外科　性病科　肛門病科　木村外科醫院　平市南町十四番地（警察署通り角）（診療所　平市六丁目）　木村淳　電話三〇九話　◎入院應需

◇住宅分讓地◇　都心に近き保健境　平第三小學校東北方約二萬坪　金より物の時代「安全の土地」

支那事變前では、投資家の投資物も種々雜多で、その向き向きに依つて、投資せられたものもありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の强化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝことゝなりました。その間に在つて殘された安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於ける跛行的景氣に依るインフレ傾向は、全國的土地投資額熱が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來しゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資が、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結に想を致すとき戰勝インフレの幕が切つて落さるゝことゝなれば、産業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものであると存せられます從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數々割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。

大小各口の御相談に應ず　御希望の方は市内田町一九蓮沼方（電話七八七番）へ御問合せ下さい

これは便利！　△手を荒さず　△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず　△つけてたくだけで洗へる　㊮マルミ粉末石鹼　製造元　平市材木町一一

平病院（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）　院主　院長　醫學博士　鈴木定藏　内科　小兒科　院長　鈴木定藏　内科　外科　副院長　高橋俊幸　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　吉本孝平　レントゲン科　物理的療法科　院長　鈴木定藏　藥劑科　部長　吉本孝平　診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

時局ノ生ンダ新案特許　日ノ丸習字板（第二八〇九七八號）　使用法半紙節約ノ目的ニテ黑テ書キテ濡雜巾ニテ拭ッテ戴ケバ何回ニテモ使用ガ來マス　實用新案　メモ板　第二七七九〇四號　野球用ボール第一七九七三號　興亞ノート　第二四七九八號　專賣特許　興亞厚紙（第（イ）一七三六〇號　第（ロ）一七三六號）　合資會社　興亞特許商事　平市月見町十三　同工場　月見町三十三

外科、内臓外科　エツキス光線科　入院隨意　安齋醫院　平市田町　院長　安齋徹　電話四七五番

强力内閣出現を熱望
防空訓練の緊張に充ち滿つ昨今
頼もしい市民の心意氣

新政治体制に對する市民の關心は防空訓練第二期第二夜、一昨十七日の夜白樺の輕井澤山莊を出た近衛公のキャデラックが驅り下ち碓氷峠の夜長を心に描いた時から俄然急激に深まつて。所詮來る處來て問題としても此の場合に於ける巨人の登場は、市を擧げて張り切つてる高度防空觀念を彌が上にも强調するに一脈聯關無しとは考へられなかつた。公によつて一日も早く強力内閣のつくられる事を希望する市民の熱は素より他の一般と異る處なく嘖り返したこれ迄とは一種異つた氣分から漸く訓練の終末期に近づいた慌だしい氣分の裡にも閣僚の顔ぶれなどに對してはいま極度の緊張を以てその成り行きの凝視、微力向ほ時局を憂ふる頼もしい國民の心意氣を見せてゐる

で參會者は必ず奉公袋を携行せられたいと
なほ晝食は日の丸辨當に限り執行官と共に一同會食することになつてゐる
市では該當者に夫々通知す

る一方盛く分會毎に豫備教育を施し戰時下緊張裡に當日の成果を期して居り、必ずこの豫備教育に出席せられたいと

『この方法で』節米一割 趣旨强調
市で各區へ周知

市では節米一割以上の徹底を期するため左の方法を各區長を經て周知せしめた
△安全咀嚼△七分搗米の常用△麥、豆、甘藷、馬鈴薯野菜等の混食△うどん、そば、ぱん、だんご等の代用食△飯用以外の米使用抑制△雜炊、粥食△間食(小豆飯)の代用食勵行△戰時献立(營養本位に依り節食)共同炊事

木炭增産協議 澤渡

村中寺木炭改良組合では二十二日組合員の座談會で木炭增産につき懇談する

職業の實習と補導
平紹介所夏休施設

平職業紹介所では例年小學校の夏休を利用し就職希望兒をして地方工場、會社、商店に住込ませ職業實習を行つて來たが今年は軍需工場を主としてこれを行ふこととなり目下工場、日取りなどを考究中である
なほ同所では既に職業戰線に在る小戰士の補導上田久少年係主任以下係員が管内各方面を歷訪、激勵する傍ら就職後の事情を調べる

高久節米講習會

高久村では戰時食糧報國のため馬鈴薯その他蒸パン製造を奬勵することゝなり講習會開催について目下平保健所と日取りなど打合中

超滿點に氣負うて 地方に漲る防空大衆
訓練漸く終末に近づく

去る十三日開始以來絃の如く張り切り續けて居る市の防空訓練は成績甲の上のフルマークに一層の氣負ひを見せ乍ら、今早曉五時頃の大氣を顫はして鳴る鐘。サイレンを合圖に爽涼の街から街へ訓練空襲警報!の傳達によつて愈よその第三期に入り官民一如の强力態勢裡に全市を擧げて文字通り高度防空の活潑な綜合訓練振りを見せた。殘るは明一日。時局意識に燃ゆる全參加者は依然息詰る緊張を續けてゐる

行つてゐる
小學校では先生の指揮により敵彈投下と共に低學年生は避難し高學年生より成る少年消防隊が專ら消火作業に從事して居りその訓練も鮮かである

出火時の一勢力
防空群に新な期待
昨日の想定好評

防空が全く國民の常識化された今日の演習が終始實戰氣分を以て行はれるは云ふ迄も無いが昨十七日の大火綜合訓練は敵機の燒夷彈投下に因る防火觀念を極度に强調した貴い收穫と共に地方として實際の災害に打つつかる場合の多い出火時の應急行動に大なる示唆を與たものとして防空思想の鼓吹上市街大火を取り入れた今回の想定は今後出火の場合に於て家庭防空群が婦女子乍ら新な一勢力として期待出來ると各方面からその成功を喜び迎へられてゐる
數次に亘る訓練によつて防空陣の度胸もすわり各所に投下される燒夷彈、ガス彈などの消火作業も敏速かつ確實、水道鐵管破裂にかりつける市水道部並に工作班の作業もあざやかにあつぱれ『甲の上』地域の面目を施した、かくして炎暑の下展開された猛訓練も正午少し過ぎ空襲解除のサイレンと共に一先づ終了、各關係方面は午後の訓練態勢に入つた

鍬の戰士出發

玉川村水戸部茂雄君は滿洲國拓士の先驅たる本縣第九次先遣隊員として十六日若松で行はれた祈願祭に臨み、十七日勇躍出發した

天候に惠まれて 縱橫の機能發揮
けふ迄の訓練を顧る

寒暑風雨も之を克服する心構へにし、强靭ならば何れ銃後の身心鍛練に拍車せるなく 前回の訓練中に於ける深夜から黎明へかけの豪雨など、この意味に於て一段の深習氣分を强調し頭る意味あるものに觀られ乍ら。之が爲め時に行動の敏活を阻まれ場合など絶無とは云はれなかつた樣であるが今回は去る十三日開始以來今迄の處終始好天氣でゆくはかり活動し得た點は、その結果に於て齎す威頗る大なるものあり觀られ、尙ほ日中の暑熱などは極度に張り切つて居お互として殆ど問題ではなく彼此今次の演習は天候に惠まれたものと云ふ事が出來る

中小學校でも猛訓練

今次防空訓練に際市内中小學校でも一般に負けずに毎日猛訓練を

正午前後に第二回空襲
消火訓練鮮か

午前十一時二十分第二回空襲警報は發せられた。既

中大喜多流練習
師範以下小名濱に合宿

中央大學喜多流謠曲會は從來行ひ來つ合宿會を鑑み去る十五日以來小名濱町港屋旅館に於て同大學喜多會長須田滋合宿總務部長の下に宗家師範和島宗太郎氏より合宿練習中であるが參加十七名昨十七日午前迄に八番を吟了した

當分續くこの暑さ
順調な稻作に姓百大喜

連日水銀柱は九十度渉を上下し、防空陣の活躍に一入の試練を課して居るが、この暑は今後同型で續くか?測候所の觀測では本格的夏型の氣壓の配置となり小笠原東方の高氣壓が高く、オホーツク海方面の低氣壓が低く南高北底のため暖い南風がかれてこの樣な無風猛暑となつて居るもので南洋にある颱風の結果を見なければ判らない、がこの暑さは續きませう。併俄雨はあります
折　驟雨で涼味は滿喫
稻作　豊作間違なし
農家は大喜びである

軟式野球組合せ決る
廿一日決勝は工業で

讀賣主催第一回濱通り軟式野球大會決勝戰は二十一日午前八時半入場式に次ぎ青沼老市長の始球式で試合を開始するが組合せ左の如く決定した

△工業球場
浪江――入山(午前九時半)
中村――平敎員(同十一時)

△平第一球場
原紡――小名濱(前九時半)
平老大狗――不戰一勝

なは準決勝戰は午後一時から兩球場で決勝戰は同三時半から工業球場で行はれる

植田區長決定

植田町では行政區長、同代理者を左の如く決定
仁井田緣川萬喜、同代理櫛田久吉、添野大平西林小澤丹野興惣次、同代理渡邊熊太郎、岩間代理森米太郎

若き學徒の雄叫び
早大辯論部講演會

早大辯論部では夏休を利用し市稲門會の後援二十日午後七時から平商講堂に於て時局問題講演會を開くが出演辯士左の如し
△國策問題早大政經科三年淺田賢美△農村問題同高野政男△支那事變東亞聯盟同法川佐△一般文化問題同太田博夫△一般政治經濟問題同二年水野邦夫

△廿一日第四分會午前五時三十分平窪　第五分會同磐城橋

來月二日間 簡閲點呼執行
市で豫備教育實施

平市の今年度簡閲點呼は來月二十、二十一の兩日平商校庭で中田憲三中佐により執行されるが集合時間は△二十日第一!第三分會午後六時市役所構庭

陣中を聽く
……(804)……

前線は大分暑いが 慣れた故か感じない
市内大町出身 長 保彥君(通信)

御無沙汰致しました其後お變りなく御暮しのこと、思ひます私も相變らず元氣で居りますす故[illegible]御休心下さい。もう七月ですから内地も大分暑くなつたことでせう

海水浴で海邊は大變賑つて居ることゝ思ひます、こちらも大分暑いですがなれた故かそう感じなくなりました、そして此頃は毎日曇りの日が多く二、三日位前までは一日おき位に雨が降つて居りました、丁度内地の梅雨のやうな氣候です、なんとなく氣もはればれ致しません。

五日許り前に大雨が降つて町の外れの丁度夏井川位の川が氾濫して洪水となり町中水びたしになつてしひまし、私等の居る所は少高い所にあるので水に浸される樣なことはなかつたですが、日本人のも支那人の家屋も水に浸されて倒壊したものが少なくありません。

支那の家屋は全部が土造りなので水には實際弱いものです、着のみ着のまゝで日本人小學校に避難して居る邦人の數は大變なものです。全く氣の毒な訳です。支那人にも又あはれなものが澤山居ります。
Kの祖父母は如何致しましたか、この暑さでは大分体に應ゑることでせう、御卒宜敷お願致します。
寫眞同封致しましたから御笑納下さい、顔も体も日灼けて眞黑です、肉も付き健康そのものです、最後に皆樣の御健康を祈り筆を措きます。

建設の礎に
市内大鍛冶出身 棚邊四郎君

拜啓時下酷暑候益々御清適の段奉賀候。降つて小生儀お陰樣にて無事戰闘に警備に微力乍ら東亞新秩序建設の一礎石たるべく努力致し居り候。先は銃後の御後援を謝し併せて暑中御見舞申上候　敬具

市民樣はじめ御一同樣にはその後御元氣にて御職務に邁進の事と遠察致して居ります。小生もお陰樣にて無事元氣にて任務に勵んで居ります故何卒御安心下さい。愈よ本格的暑さが訪れて參りましたね。皆樣方にもこの暑さを克服なされて元氣な夏をお過しあらんことを遠く當地の空よりお祈り致して居ります。

元氣で精勵
市内出身 石川榮一君

暑中御見舞申上げます
では御一同樣御元氣にて　草々

懷田子英吉翁
瑞雲　小野務平

君子人平君子人
躬行實踐導鄉民
千今遺業愈增大
當此時艱沪慕新

平市慶弔錄

△出生 九品寺前五三若松增平氏四男康司君、大町一八中山静治氏長女陽子さん
▲死亡 本籍鷹匠町一八滿洲國新京市八島通三〇大槻花子さん(二七)、大町一八中山陽子さん(一)

拈華微笑

淋漓の流汗に訓練の猛さは增す
□
前線思へば!もつと踏ん張れ水銀柱
□
起つて颯爽を尋ねて清風に臥す。なんて三昧境も時によれ惡だ
□
見よ!潮服の、モンペ姿の張り切りを
□
漸く終末期に入つて愈よ夏空高し防空意識

十八日【小名濱測候所調】
滿潮 前五、二五 後三、〇五
干潮 前一〇、三五 後一〇、二五

舊六月十五日 金曜 癸亥 友引 定 亢宿 新七月十九日

▲一白 不滿をおさへ逆らはず今日一日の安きを謀れ▲二黑 幸の滿てるうにて内外共に可ならざる無し▲三碧 理想を練り大いに進出する氣運を養ふべし▲四綠 不相應の小さへせざれば大いに發展すべし▲五黃 位置はひくくとも目上の引立てのある日なり▲六白 人事に口を出さず家業を大切に勵げむべし▲七赤 勞多くして功少くとも決してうむべからず▲八白 忠實に本分を守れば知らず識らず發展あり▲九紫 いざなひに乘らず家業專一と勵めば吉日たり

天氣豫報 小名濱測候所觀測
今晩 南西の風晴
明日 同

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下 電八七四

御挨拶
謹而病院在職中並に出發の際の御芳情に對し深く感謝奉り候無事到着一々御禮申上げ難く乍略儀以紙上御厚禮申上度如斯に御座候　敬白
昭和十五年七月
吉田平一

食事。喫茶。酒場を兼ねた
レストラン サロン
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十一時限り
平市銀座街 電話五九二

西村藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料 店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
体温器 寒暖計
秤ノ取締 弱系・修繕致シマス。
關内藥局 電話四〇番

吉例土用丑
牛肉大賣出し
二十一日土用入り丑
滋養豊富な牛肉を是非……
平市田町 石川亭 電話四十三番